



# 令和7年度 権利擁護ワーキング研修会 ~親なきあとを考える~



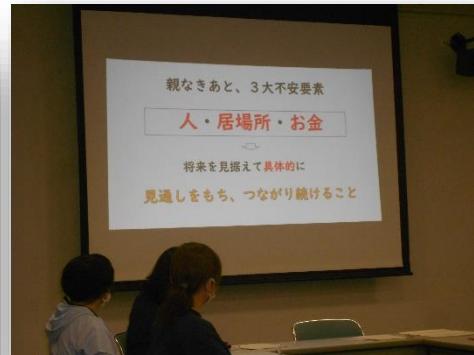
11月21日、赤磐市立中央図書館 多目的ホールにて、パブリック友の会から講師をお招きし、「権利擁護ワーキング研修会」を開催しました。当日は約30名の方にご参加いただき、情報共有とグループワークを中心に学びの時間を持ちました。

## 情報共有

『親がいるうちに“見えない不安”を“見える安心”に変える、今できる一歩』

講師：大澤 公一郎氏

弁護士法人パブリック法律事務所と障がいのある本人・家族をつなぐ友の会  
パブリック友の会 代表



親なきあと、3大不安要素  
**人・居場所・お金**  
見通しをもち、つながり続けること

## グループワーク



「親の終活について」「親・本人のお金について」「後見制度について」のテーマに分かれてグループワークをおこない、意見交換を通して今後の備えについて考えました。

## まとめ

参加者の方々から「友の会の活動内容を知ることが出来た」「気持ちが楽になった」「また機会があれば聞きたい」「後見制度の知識が深まった」というお声をいただきました。30年後、誰が我が子を支援してくれているか、またどのように支援してもらいたいかという大澤氏の言葉や今回の研修が、関わりを見つめ直すきっかけになりました。